

第 69 回 馬場 正太郎さん (東京外国語大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第 69 回目は、馬場 正太郎さんにご執筆いただきました。

外語大で心理学???

「外語大で心理学やっています」と言うと、知り合いから驚かれることがあります。このコラムリレーの読者のほとんどの方も、外語大で心理学???と思ったはずです。実は私自身も例外ではなく、東京外国語大学に入学した時は、まさか心理学研究者の道に進むとは思ってもみませんでした。

でも、教育心理学ゼミに進み、今までの自分の外国語学習には、様々な心理的要因がかかわっていたことに気がつきました。例えば、大学受験勉強。入試問題で出題されるから。友だちに負けたくないから。自分の将来の夢を叶えたいから。これは学習動機づけで説明することができます。自分の英語学習は大学受験がきっかけであったこともあり、どうすれば大学受験勉強を英語学習に有効に活用できるか関心を持って研究に取り組んできました。卒業論文では、受験競争に対する学習者の認識である「受験競争観」と動機づけの関連について研究しました。修士課程進学後は、大学受験から一步距離を置き、学習評価に対する認識と動機づけとの関連について研究しました。博士課程では、原点である大学受験に立ち戻り、大学受験勉強の時に使用される過去問を使った学習に焦点を当てて研究を進めています。

外語大で心理学を学ぶ。こうした意外性が自分のアピールポイントかなと思っています。外語大ならではの心理学研究があるんだ！ということ、Zoom越しという制約はあるけれど、ゼミの後輩に伝えていければいいなと最近はやっています。

馬場 正太郎 (Shotaro BABA)

【所属】 東京外国語大学大学院 総合国際学研究所 世界言語社会専攻

【連絡先】 [baba.shotaro.n0@tufs.ac.jp](mailto:baba.shotaro.n0@tufs.ac.jp)

【HP】 <https://researchmap.jp/bb727>

【その他】 本学では秋学期より、一部の授業で、オンラインと対面を組み合わせたハイブリッド授業が始まるそうです。教室の音声を Zoom 受講者にもちゃんと伝えるにはどういうセッティングをすればいいのかなと、ティーチング・アシスタントをしながら考えています。